

# 久慈市国際交流協議会 平成30年度実施事業

## 【2 姉妹都市交流事業】

「フランクリン市・久慈市姉妹都市親善大使 招聘事業」

＜期間＞平成30年9月4日(火) ～平成30年9月27日(木)

＜内容＞姉妹都市のフランクリン市の高校生ホイットニー・シーバートソンさんが、久慈市内の家庭に約3週間ホームステイしながら、交流活動を行った。ホイットニーさんは、久慈市が毎年実施している姉妹都市フランクリン市への中高生海外派遣事業の現地コーディネーターを務める福本珠代氏から日本語を習っている縁で、久慈市訪問を希望。滞在中はALTと一緒に市内小中学校を訪問し、学校の授業に参加した他、ホームステイ先の子供が通う高校にも通学し、交流を深めた。滞在期間中、アレン記念館やアレン協会なども訪問し、両市の交流の歴史についても学んだホイットニーさんは、久慈市から「フランクリン市・久慈市姉妹都市親善大使」第1号に任命された。協議会としては、久慈でのホームステイが円滑に進められるよう、送迎の手配の他、久慈市や日本文化の紹介などを行った。



出発式の後、お世話になったホストファミリーの皆さん、久慈市教育委員会の皆さんと記念写真。

## 【2 姉妹都市交流事業】

「リトアニア共和国ナショナルチーム柔道選手交流事業」

＜期間＞平成30年10月6日(土) ～平成30年10月7日(日)

＜内容＞神奈川県平塚市での東京オリンピックに向けたテストキャンプのために日本に滞在中だったリトアニアナショナルチーム柔道選手が久慈市を訪問し、市内の児童生徒と柔道交流を行った。訪問したのは、ロンドンオリンピック男子90キロ級9位のカロリス・バウザさんと、2016年ヨーロッパオープン女子78キロ級銅メダルのサンドラ・ヤブロンスカイテさんの2選手。三船十段記念館を見学した後、道場で小中高生95名に得意技などを披露し、指導を行った。同日夜には、市内で歓迎レセプションを行い、久慈市柔道協会、国際交流協議会員など計23名の方からご出席いただいた。レセプションでは参加者それぞれが選手と交流し、柔道や国際交流に関し情報交換した他、参加者同士でも交流が図られた。



## 【2 姉妹都市交流事業】

「久慈市立中央市民センター内国際姉妹都市コーナーのリニューアル」

(久慈市中高生海外派遣研修レポート)

＜日 時＞平成31年3月19日(火) 13:00～15:30

＜場 所＞久慈市立中央市民センター 国際姉妹都市コーナー

＜参加人数＞7名(派遣団員6名、事務局員1名、教育委員会職員2名、派遣団参加教員2名)

＜内 容＞例年、海外派遣報告会と合わせて開催していたが、昨年度から報告会の開催場所が変更となったため、別日程で参加団員に集まっていただき作業を行った。大まかな展示スペースやレイアウトのみを指定し、写真の最終的な選定や、配置については自由に決めていただくようお願いした。参加者全員で協力しながらスムーズに作業をしていただいた。事務局員は1名のみの参加であったが、海外派遣担当の教育委員会学校教育課の職員が1名参加し、前年度の展示の撤去作業等お手伝いいただいた。昨年度の派遣団員2名も参加し、作業のお手伝いをしていただいた。

また、今年度の派遣事業参加者全員が、フランクリン市・久慈市姉妹都市親善大使にも任命されており、親善大使プログラムについての説明文および両市長の署名の入った任命書の写真も展示した

